

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.12.5 No.183 連絡先 FAX 042-555-1911



憲法の基本原則くつがえす 特定秘密保護法案は廃案に！

11月21日、「STOP！『秘密保護法』大集会」（主催、同実行委員会）が開かれました。開場15分前から参加者が会場からあふれ、1万人（主催者発表）の参加でした。

海渡雄一弁護士が主催者あいさつで、この日は、全国14カ所で集会やデモが取り組まれていると報告しました。

政党では民主党、共産党委員長、社民党党首などがあいさつ。教授の青井未帆さん、作家の落合恵子さん、新聞労連委員長の日比野敏陽さんなどが次々訴えました。

国民多数の反対、慎重審議の声を無視し、衆議院は26日、与党とみんなの党で秘密保護法案を強行採決しました。参議院で廃案に追い込みましょう。地元でも連日、宣伝活動が行われています。12月6日の大集会（裏面参照）にも参加しましょう。（写真：東京平和委員会提供）



米軍ヘリが 東京都とあきる野市の合同総合防災訓練に参加していた

11月23日、あきる野市で、都と市合同の総合防災訓練が実施されました。市の広報では、米軍の参加は書かれていませんでしたが、米海軍と米陸軍のヘリコプターが参加していました。

右の写真は、MH-60R という新型ヘリコプターで、米海軍厚木基地の第51海洋攻撃ヘリコプター隊(HSM-51)の所属です。この部隊は最近、海洋攻撃力を強化した部隊に改変されました。

武力攻撃が主任務ですから防災にふさわしくありませんね。

同型機は横田基地の ILS（計器着陸装置）を使った訓練のため、今年5～6月に数回飛来しています。

右下のヘリコプターは、米陸軍キャンプ座間の UH-60A ブラックホークです。キャンプ座間は在日米陸軍司令部があり、横田には偉い人を乗せて来るのか、月に何回も飛来しています。

（写真提供 上：あきる野9条の会、下：戸沢弘征あきる野市議）



MV22 オスプレイがパラシュート降下訓練をした 伊江島に行く ④



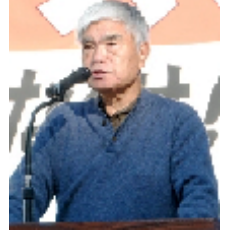
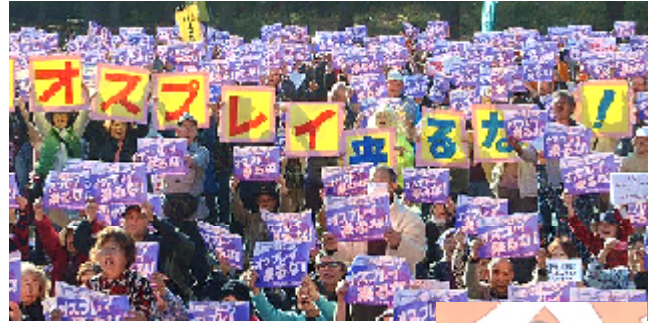
昨年6月、オスプレイ配備に伴う米軍の「環境レビュー」が関係市町村に配付されました（横田基地周辺の6市1町にも配付）。この環境レビューによると、伊江島補助飛行場での年間訓練回数が、従来のCH-46ヘリコプターは2880回（2010年）、オスプレイは2.3倍の6,760回に増えることが分かりました。離着陸訓練（FCLP）も増えます。

伊江村議会は2012年7月4日、「普天間飛行場へのMV22 オスプレイ配備及び伊江島補助飛行場での同機の訓練計画の撤回を求める」意見書と抗議決議を可決しました。写真は伊江村提供。（MT 続く）

オスプレイくるな！ 沖縄と連帯 首都圏大集会に 3500人 (No. 183 の裏面)

11月24日、米海軍厚木基地の近くの大和市引地台公園で「爆音なくせ！ 沖縄連帯！ 空母の母港なくせ！ オスプレイくるな！ 11・24 首都圏大集会」が開催され、3500人が参加しました。

集会は、米軍機の整備機能がある厚木基地へのオスプレイの飛来に反対するもの。主催者あいさつをした水谷正人実行委員長は、人口密集地にある厚木基地へのオスプレイ飛来の危険性を指摘し、「“オスプレイくるな”の一点で共同と共闘を大きく広げましょう」と呼びかけました。玉城義和沖縄県議は「一緒に戦い抜いて平和な沖縄、日本のために頑張っていきましょう」と連帯あいさつしました。「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の笹田一忠事務局長がともにたたかう決意を表明。集会後、デモ行進をしました。(写真：東京平和委員会提供)



辺野古埋め立て不承認をと名護市長 沖縄自民国会議員は辺野古容認

沖縄県名護市の稲嶺ススム市長は、米軍普天間基地にかわる新基地建設のための同市辺野古沿岸部の埋め立てに断固反対し、承認しないよう求める市長意見を、27日、仲井真弘多県知事に提出しました。一方、沖縄選出の自民党国会議員は、自民党本部の新基地の『『県外移設』の議員は離党を勧告する』との脅しに屈し、辺野古への移設を容認し、県民への公約を裏切りました。

政府・自民党の「辺野古に移設しないと普天間基地が固定化する」という脅しは、全くのごまかしで、沖縄の米軍基地の拡大強化につながります。普天間基地は無条件で返還すべきです。



「秘密保護法」廃案へ！ 12.6大集会に参加を

「秘密保護法」廃案へ！実行委員会は、日比谷野外音楽堂で行われる12.6大集会への参加を呼びかけています。午後6時30分・開会、午後7時15分・国会請願デモ（銀座デモコースもあり）、午後6時～6時30分・プレトークです。

(呼びかけ文の抜粋)「特定秘密保護法案」の廃案まで、あと一歩です。

今、全国の大半の新聞が社説で廃案を求めており、法曹界、言論人に加え宗教界、演劇人など、続々と反対声明が発せられています。安全保障と情報の権利に関する国際基準から大きく逸脱しているとして、海外からも非難ごうごうです。ニューヨークタイムズなどのメディア、日本外国特派員協会、国連専門家、人権NGOが日本政府を厳しく批判しています。

この法律ができれば、官僚は情報をいくらでも闇に葬ることができます。情報にかかわる人は周辺も含めて監視され続けます。この国は、国会も司法も手が出せない、官僚独裁の監視国家になってしまうのです。圧倒的多数の市民の声を「廃案！」の一点に結集させ、稀代の悪法「秘密保護法案をつぶすために、再び政府と国会に私たちの声をぶつけましょう！

みんなで集まろう！ 憲法守れ！ 安倍政権の暴走ストップ！ 12.8三多摩大集会



会場：井の頭公園・西園 (JR 吉祥寺駅、又はJR 三鷹駅下車)

プログラム ◇11:00～13:00 ブース企画 各団体のアピールの場。

◇13:30～14:50 大集会 各グループの「憲法まもれ」「暴走許すな」訴え等。

◇14:50～ パレード みんなで要求を掲げて井の頭のもりを出発。

●集会実行委員会は、三多摩健康友の会、三多摩労連、三多摩革新懇、三多摩憲法ネットワークの各代表の呼びかけで結成。実行委員会には団体も個人も加入しています。